

病院だより

2016
第2号
[広報誌秋号]

作業療法・デイケアとは？

作業療法やデイケアは、薬を飲んだり、注射をしたりする治療とは、少し違います。いろいろな作業活動を通じて、よりよい社会生活や療養生活を送ることができるようになるための治療です。その目的は一人一人違います。

- 気分転換を図り、ストレスを発散する
- 集中力・持続力をつける
- 基礎体力をつける
- 楽しみやいきがいをみつける
- 規則正しい生活を送る
- 人とうまくつきあえるようになる などで

※注意 趣味の教室ではありません。「こころ」と「からだ」が健康になるための活動です



参加者の声

- ・自分一人では体験できないことを体験できるので、とても助かっています
- ・大好きです。作業療法さまざまです
- ・いい暇つぶしになっている
- ・家に引きこもらないで済む
- ・仲間が出来たことが嬉しい

当院の作業療法・デイケアの特徴

作業療法

現在は児童が多く、児童に対しては、一緒に思い切り遊ぶことを目的の一つに置いています。“遊ぶことが治療になるのか”という意見もありますが、ラポール(信頼関係)を作り上げるには、遊びが効果的だと思っています。精神科で治療の効果を上げるためには、対象者と治療者の良いラポールを築くことが、関係していると言われています。遊びを通して、より良い治療効果を上げることに重きを置いていることが、当院の作業療法の特徴です。

デイケア

現在は、主に参加メンバーの居場所をデイケアで提供しています。一日の生活リズムを整えたい方、日中やる事が無い方に対して、月間で決められたプログラムをスタッフと一緒に取り組んでいます。その中で、それぞれが目標(復学、就職など)を定め、次にステップに進んでいくという流れになります。また、継続して毎日デイケアに来るということも大事な目標の一つです。

※作業療法・デイケア共に現在は、子供の関わりが多くなっています。今後は、高齢者へ対するリハビリに対しても力を入れていきたいと考えています。上記に記載した流れをベースに対象者一人ひとりの“その人らしさ”を引き出せるようリハビリプランを提供していきたいと思ひます